

・全世界:新型コロナウイルスの流行状況

新型コロナウイルスの累積感染者数は 11 月下旬までに約 5900 万人、死亡者数は約 140 万人にのぼっています(米国ジョンホプキンス大学 2020-11-25)。1 か月前に比べて感染者数は 1700 万人増えており、北米やヨーロッパでの増加が顕著になっています(WHO Corona virus disease 2020-11-24)。ヨーロッパでは都市封鎖などの強い対策がとられた効果で、新規感染者数は少しずつ減少傾向にあります。米国では最近 1 週間で約 110 万人の感染者が発生し、イリノイ州、テキサス州、カリフォルニア州で感染者数が多くなっています。これに伴い死亡者数も増加しています。中東でもイラン、パキスタンなどで感染者数の増加がみられます。今後、北半球の温帯では冬の到来とともに、感染者数がさらに増加することが予想されます。

新型コロナウイルスのワクチンについては、米国のファイザー社、モデルナ社、英国のアストラゼネカ社が第 3 相試験の結果を一部報告しました。いずれのワクチンも効果が高く、副反応も少ないとの結果で、米国やヨーロッパでの使用申請を近日中に行う予定です。

・北半球:インフルエンザの流行

北米、ヨーロッパ、東アジアでは、インフルエンザの流行がほとんど報告されていません(WHO Influenza 2020-11-9)。日本でも 11 月上旬の時点でインフルエンザの患者数は大変少なくなっています(国立感染症研究所 2020-11-16)。一方、南アジアのインド、バングラデッシュ、東南アジアのカンボジア、ラオスで患者数がやや増加しています(WHO Influenza 2020-11-9)。

・アジア:ラオスでトリインフルエンザ(H5N1 型)の患者発生

ラオス南部のサラワン県でトリインフルエンザ(H5N1 型)の患者が 1 人報告されました(WHO outbreak news 2020-11-17)。この患者は 1 歳女児で、10 月中旬に発病し、その後、軽快しています。最近、サラワン県では家禽の間での流行が発生していました。ラオスでは 2005 年以来、3 人の H5N1 型の患者が報告されています。

・アジア:台湾でのデング熱流行

台湾の台北近郊で今年は 70 人のデング熱患者が発生しました(Outbreak News Today 2020-10-11)。このうち新台北での感染が 48 人、桃園が 22 人となっています。今年は台湾北部で雨量が多く、この影響で媒介蚊が増えた模様です。

・アフリカ:コンゴ民主共和国でのエボラ熱流行が終息

コンゴ民主共和国の赤道州で今年 6 月から発生していたエボラ熱の流行が終息しました(WHO outbreak news 2020-11-18)。今回の流行は同国で 11 回目になり、130 人の患者(疑いを含む)が発生し、このうち 55 人が死亡しました。

・南米:ブラジルでの麻疹患者の増加

ブラジルでは今年になり 10 月上旬までに麻疹患者が 1 万 6000 人発生しています(Outbreak News Today 2020-10-11)。とくにリオデジャネイロやサンパウロなどの都市部で患者数が多くなっています。新型コロナ対策により小児への麻疹ワクチンの接種が滞っている影響もあるようです。